

備陽史探訪

第 241 号

発行
備陽史探訪の会

備陽史探訪の会の目的

備後を中心とした
地域の歴史を研究し、
愛郷の精神を涵養する。

(会則第 1 章第 2 条より)

『渡邊先祖覚書』にみる 武家の「身分と儀礼」

会長 田口義之

中世も含めて、前近代は身分秩序を言葉や服装で表すことが多かった。特に、律令秩序から逸脱して誕生した、鎌倉・室町・江戸の武家政権は、自らの存立基盤を固めるため、將軍を頂点とした儀礼を整備し、配

下の武士達に強制した。例えば、室町幕府では、殿中での席次、衣装を厳格に定め、將軍はそれらの榮譽を「与える」存在として君臨し、秩序を保とうとした。

こうした武家儀礼の世界、幕府殿中での様子は、各種の儀礼書(1)で概要が判明するが、地方に於いては断片的な存在が知られる(2)のみで不明の点が多い。

そうした中で、16世紀前半、備後の在地武士であった渡辺越中守兼が記した『渡邊先祖覚書』は、当時の備後に於いて、在地領主間でどのような儀礼や「身分」が存在したかを教えてくれる希有な史料となっている(3)。

同覚書を通して知られるのは、筆者渡辺兼から見た、在地領主間の階層である。兼は、この覚書で、当時の在地領主や守護大名を三様の表記の仕方 で記している。

一つは、在地最高の権力者であった守護山名一族に対する「敬称」である。兼は自分が仕えた山名俊豊や、

その一族を「○○殿様」と表記し、最大の敬意を表している。

守護の次に位置づけているのは、当時「国衆」と呼ばれた、地域領主達である。渡辺氏と縁が深かった宮氏や山内氏、和智氏は「殿」付で表記し、それ以外の在地武士を「呼び捨て」にすることで、彼らとの違いを強調している。

「呼び捨て」にされていたのは、渡辺氏の居住地に近い沼隈郡周辺の在地武士、名倉氏(4)、三谷氏(5)などで、当時の渡辺氏と「同輩」の関係にあった者たちである。

別の場所では、和智氏や山内氏を国衆と表記した後で、「小座敷衆」という表記が見られ、これが当時渡辺氏が属していた国衆の下、畿内地方で見られた「殿原衆」と呼ばれた村落領主、所謂「地侍」であったと考えられる。すなわち、当時の備後地方(おそらく西日本各地)では、守護を頂点とした、国衆―小座敷衆(地侍)という身分秩序が存在したことが判明する。

目次

『渡邊先祖覚書』にみる武家の「身分と儀礼」

……(会長 田口義之)

ワンショットレポート

調査報告

中世石造物の調査報告 ……(篠原芳秀)

ワンショットレポート

研究レポート

古川の謎 II

研究レポート

・大門城山城の段について(枝広城)

……(中世史部会)

読者ノート

『謎の古代山城

『茨城』を歩く』に参加して

………(湯川勝彦)

史料紹介

井上家文書(10)

御樋方御郡方村方

普請場所ヶ所附帳3

田口義之の備後の古墳30選(6)

イコーカ山古墳

………

事務局日誌

現在の会員数
218名



会員数は4月の
数字です。増減
があるかもしれ
ません。(いっちゃん)

紀要『備陽史研究』の原稿募集

『備陽史研究』は、備陽史探訪の会紀要です。会員の皆様が個々に調査・研究をした成果を発表する場でもありますし、後世伝えたい郷土の歴史を残す場でもあります。

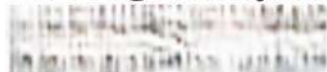
国立国会図書館や広島県立文書館をはじめ、市内図書館にも寄贈しており、広く一般の研究者や歴史に興味のある地元の人の目に触れる機会も多くなります。

地道に積み重ねてきた日々の研究も、多くの方々の目に触れることができるようになって初めて意義のあるものになりますし、それを元に多くの人が議論することで、郷土史研究は更に深まります。

原稿は、随時募集しています。郷土史発展のために奮ってご応募ください。

【応募方法】

事務局宛て郵送かメール
info@bingo-history.net



備陽史探訪の会 事務局

事務局日誌

- ◇2月1日(土)ぶら探訪「山手に中世石造物を訪ねる」 参加12名
- ◇2月2日(日) 中世城館測量調査 中止
- ◇2月8日(土)「近世福山の歴史を学ぶ」 参加15名
- ◇2月15日(土)「中世を読む」 参加32名
- ◇2月19日(水) 古文書解説会 参加6名
- ◇2月22日(土) 中世石造物調査 参加5名
- ◇2月22日(土)「大人の博物館教室」 参加25名
- ◇2月28日(金) 古文書入門講座 参加9名
- ◇3月2日(日)「謎の古代山城『茨城』を探る」
- ◇3月8日(土)「近世福山の歴史を学ぶ」 参加21名
- ◇3月9日(日) 中世城館測量調査 参加4名
- ◇3月15日(土)「中世を読む」 中止
- ◇3月19日(水) 古文書解説会 参加5名
- ◇3月22日(土) 中世石造物調査 参加3名
- ◇3月28日(金) 古文書入門講座 参加8名
- ◇3月29日(土) ぶら探訪「田口会長と福山城界限を歩く」 参加28名
- ◇3月29日(土) 花見会 参加12名

会報「備陽史探訪」の原稿募集

会報「備陽史探訪」242号の原稿を募集中。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・イラスト・写真・俳句・随筆・昔語りなどなど会員の皆様の投稿をお待ちしております。

昭和の頃の何気ない日常の思い出話も、今では立派な歴史の証言。日本中どこを探してもないココだけの歴史情報お待ちしております！

原稿は事務局編集部まで。規定は16文字×120行以内。写真に一行コメントや100文字以内のコメントでもOK。なお、原稿は返却しませんので、必要な方は複製をお願いいたします。また、内容によって、研究レポートや郷土史探訪あるいは読者ノートなど、項目の判断させていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。



備陽史探訪の会 事務局

公式サイト <http://bingo-history.net/>
事務局メール info@bingo-history.net

びんご歴史クイズ58 備後の国衆と寺院編

① 山内氏の居城「甲山城」の中腹に建つ円通寺は誰によって創建されたと伝えられているのでしょうか？

- A 聖徳太子 B 行基
C 弘法大師 D 伝教大師

② 和智氏実が創建した大慈寺の開基宗綱の師匠は次の内誰でしょうか？

- A 道元禅師 B 春屋妙葩
C 栄西禅師 D 愚中周及

③ 宮兼信・氏信父子が將軍足利義詮の菩提を弔うために創建した寺院は次の内どれでしょうか？

- A 中興寺 B 徳雲寺
C 護国寺 D 高松寺

④ 渋川氏の菩提寺、三原市八幡町の蓮台寺は、元々どこにあった寺でしょうか？

- A 加賀国 B 山城国
C 上野国 D 相模国

◇「茨城」を探るプロジェクトがついに始まりました。◇3月に実施した見学・検討会に続き、4月には本格調査に向けた道づくりを行いました。◇調査の結果、はたして大発見なるか。乞うご期待です。(Y. K)